

資料6-2 閉じこもり予防・支援プログラムのプロセス評価項目例

【事業対象者の状況および周囲の状況の把握】

〔対象者の状況〕

- ・対象者の外出を障害する要因を把握できているか。
- ・対象者が外出してやりたいことを把握できているか。

〔対象者の周囲の状況〕

- ・対象者の外出を支援する家族、隣人、地域資源（ボランティア組織など）を把握できているか。
- ・地域で実施されている通所型サービスの実態（実施主体、実施スタッフ、活動内容と安全性、実施頻度、実施期間、サービス利用終了者の処遇など）を把握できているか。

【簡易なケアプランの作成】

- ・対象者の外出を障害する改善可能な要因に対して、十分な処置を施すことができているか。
- ・対象者の簡易なケアプランとして利用することが適当なサービスは、どのような条件を備えているべきかについて検討できているか（実施主体、実施スタッフ、活動内容、実施頻度、実施期間、サービス利用終了者の処遇に関する条件）。
- ・対象者の簡易なケアプランに、上記条件を満たす通所型サービスを選定できているか。
- ・対象者の簡易なケアプランに選定した通所型サービスは、対象者本人の興味と都合に合っているか。
- ・家族、隣人、地域資源を、対象者の外出支援のために十分活用できているか。

【事業の中間評価】

- ・事業実施期間中に対象者の外出状況を確認できているか。
- ・対象者の外出を支援する地域の資源、および簡易なケアプランで利用する通所型サービスについて、必要に応じて見直しを行っているか。

【事業提供体制】

- ・対象者の家族、隣人、地域資源から、十分な協力を得られているか。
- ・簡易なケアプランで利用する通所型サービスとの連携は十分か。
- ・地域包括支援センターは、事業対象者の一次アセスメント、簡易なケアプラン作成および中間評価を実施するために必要となるスタッフ（職種と人数）を擁しているか。